

希



い

(題字 吉岡名誉顧問)

親の会だより
第66号平成22年7月

発行
東大阪市手をつなぐ親の会
(年3回)

総会あいさつより

会長 坂本 ヒロ子

全日本手をつなぐ育成会で、障害者自立支援法が障害者総合福祉法になるまでのつなぎとして要望しておりました法案が5/31の衆議院本会議で賛成多数で成立し、昨日までの国会で成立するとみられておりましたが、審議されることなく閉幕し廃案となりました。

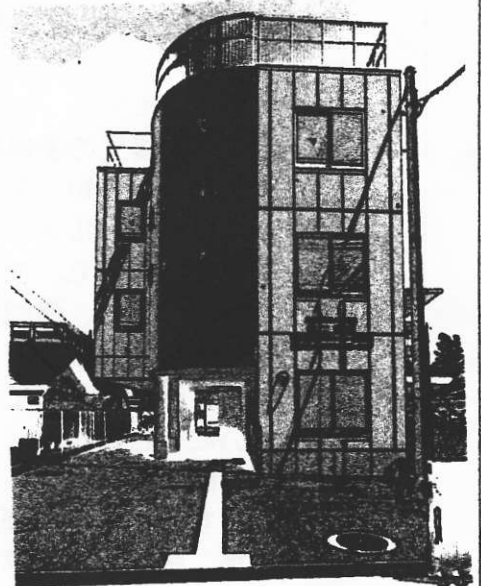
地域における自立した生活のためのグループホーム、ケアホーム利用の際の助成の創設(家賃補助)と成年後見制度支援事業を市町村の地域生活支援事業の必須事業に格上げするは、法律案の中でもとても期待しておりましただけに、今後の国の動きには注目したいと思っております。

東大阪市は国が市町村民税非課税利用者の福祉サービス利用料無料を打ち出され、障害者に寄り添った政策を展開して下さっていることに感謝いたします。

先日、6/14、私と副会長で24年高井田に建設予定の市営住宅の一部をグループホーム、ケアホームとして利用させていただきいと市長あてに緊急要望をさせていただきました。障害者年金とわずかな工賃の収入しかない知的障害者にとって、公営住宅の利用は、必要でご理解が得られるよう来年も経過を聞かせていただきに伺おうと思っております。建設局からは「今まで前例がなく府のやり方も聞きながら、障害福祉部は地域移行という流れの中から考えていきたい」と言われました。

東大阪市手をつなぐ親の会の事業計画はここ数年「生活支援センター拡充及び親の会による知的障がい者相談室設置のための協力支援」をあげておりましたが、7/29竣工式のはこびとなりました。3Fに狭くはありますが、そこに成年後見支援センターと親の会の事務室、親による知的障害者相談室をと。親の会の新しい事業展開がはかれる場が皆さんの協力のおかげでできたと思っております。ありがとうございます。

今年度の事業計画に「成年後見支援センターの設置」をあげております。青山会より社会福祉士の資



第二東福増築完成図

YMCAレインボークラブに参加して

第二東福 船戸(母)

6月27日(日)、去年に引き続いて大阪東YMCAレインボークラブの一日レクレーションに参加させて頂きました。梅雨の晴れ間をぬって、他の5名の参加者も、どこかへ連れて行ってもらえることをとても楽しみにしている様子でした。

康次の場合は、前日六万寺の宿泊が入っている為、迎えに行っても間に合うかと心配していたのですが、スタッフの方から「六万寺迄むかえに行きます」と言って頂きとても助かりました。

去年は、初めて参加しましたので、本人もちょっと緊張していたみたいでしたが、若いスタッフの方々の笑顔の対応で、リラックスして楽しんだ様子か、後日送られてきた写真で伺うことができ、今年も参加を希望しました。

今回も、相変わらず笑顔のスタッフの対応に、安心して送り出すことができましたし、帰りのバスの中でも、服を汚したりして迷惑をかけた様でしたが、嫌な顔一つせず良い対応をして下さったことに感謝しています。

又、いつか機会があれば参加したいと思います。

ありがとうございました。



施設見学に参加して

学齢期部

「ワークセンター つつじ」と「ケアホーム」の見学会でしたが、私自身、ケアホームの見学は初めてでした。

今年3月に完成したとのことで、きれいなのはもちろんの事、個人個人の部屋も広く、屋上からの景色は、池や田畑が広がるのどかで静かなとても良い環境でした

そして、印象的だったのが、玄関の壁一面にタイルで、太陽・お花・イルカが描かれていて、よく見るとタイルが鳥や人の顔、ドラえもん等ひとつひとつ違う模様でした。これは、利用者さんが1年以上かけて、51kgものタイルを陶芸で作ったそうです。とても華やかで个性的で素敵な玄関でした。

私の子供は、まだ学齢期なので、ケアホーム等の施設で生活するという事は、いまひとつ現実的に考えられないのが正直なところだったのですが、実際に素晴らしい施設を見せて頂き、理事長さんの『親子が離れ離れにならないような施設を作りたい』という熱い思いやお話を聞かせていただいて、これまでのように目先のことばかりを考えるのではなく、何十年先の事も考えていかなければいけないと思えただけでも、今回の施設見学の参加はとても良い勉強になりました。

家庭裁判所見学会

7月2日(金)28名で行って来ました。初めてのところとあって興味深く見て回りました。その後、成年後見制度の話を知りました。知的障害者より高齢者対象の話が主だったように感じました。又、第三者の後見人の不足も訴えておられました。

去年、第二東福に実習に来られた方からお手紙をいただきました。
紹介したいと思います。

第二東福の皆様

その後、いかがお過ごしでしょうか

実習の五日間はたいへんお世話になりました。たった五日間ではありましたが、私にとっては、学ぶ事の多い五日間でした。教員となる為の実習というよりも、第二東福で学んだひとつひとつは、母として我が子達に向き合う時にもためになる事が多くありました。

また、子ども達に伝えていきたい事もたくさんありました。そのひとつに『障害は、それぞれの個性であり、例えば私達が短気だったり、おっとりしていたり、泣き虫だったり、笑い上戸であったりすることと同じだ。』ということです。コントロールができない為に度合いが違うだけだということです。

この実習を経験していなければ、そんな風を感じる事はできず、一番してはいけない『上から目線』でいた気がします。対等に向き合える優しさと強さと謙虚さを身につけるには、こんな歳なのにまだまだ時間がかかるかもしれませんが、実習前の自分と今の自分とは、そういう点では少し前進できたような気がします。

実際に、第二東福で利用者の皆さんの中で時間を共にして、感じたり考えたりした事は、今後の私の人生に様々な意味でプラスになると信じています。

スタッフの方々を見ていて、自分は『善意で支援しています』などという傲慢な姿勢でいるつもりではなく、そんな目線で見えてしまっていたかもしれないと反省しました。恥ずかしい限りです。

教師になれるかどうかはわかりませんが、教員免許取得を目指し、実習を経験する立場になったことは、本当に良かったと思います。そう感じさせて下さった第二東福のスタッフの皆さんや利用者の皆さんに感謝します。

ありがとうございました。

米原 聡子

告知板



【土曜レク番外編】

親子で自然を楽しもうと企画しました。福祉バス「ことぶき号」で行きます。

8月11日(水) いよやかなの郷(岸和田市) 会費 親子で8千円程度

定員 30名 受け付けは8/2~8/6 坂本会長まで

詳しくはプリントを配布します。

【DVDの鑑賞会】

手をつなぐでも紹介された『母なる証明』の鑑賞会を行います。

8月30日(月) 10時~ 第2東福 3階 多目的ホール

詳しくは各保護者会・家族会会長より話があります。



◆当会への**寄附金** ありがとうございます

平山 吉順様 5万円

